

# 2024年度 決算報告



2025年4月25日  
日本ゼオン株式会社

P.2	総括	
P.4	トピックス	
P.8	事業環境（為替・主原料推移）	
P.9	業績サマリー	
P.13	高機能材料	P/L
P.14	高機能材料	セグメント別概況
P.15	高機能樹脂事業	： COPの状況
P.16	高機能樹脂事業	： 光学フィルムの状況
P.17	高機能バインダー材料事業	： 電池材料の状況
P.18	高機能ケミカル事業	： 化学品・電子材料の状況
P.20	エラストマー素材	P/L
P.21	エラストマー素材	セグメント別概況
P.22	エラストマー素材	： 合成ゴムの状況
P.24	B/S概要	
P.25	C/F概要	
P.27	2025年度 業績予想	
P.30	2025年度 株主還元予想	

※2024年度より、光学樹脂をシクロオレフィンポリマー(以降、COP)と記載します。

## 2024年度Q4連結実績

売上高  
**1,052**億円  
QoQ▲3%

営業利益  
**51**億円  
QoQ▲30%

経常利益  
**57**億円  
QoQ▲35%

親会社株主に帰属  
する当期純利益  
**61**億円  
QoQ▲23%

### 増減の主要因

売上高：高機能材料が総じて堅調、化成品も出荷回復

営業利益：高機能ケミカルの棚卸資産関連費用の発生、期末本社費等の増加

経常利益：同上、さらに為替差益が減少

当期純利益：投資有価証券についてQ3に大型の売却を実施

## 2024年度連結実績

売上高  
**4,206**億円  
YoY+10%

営業利益  
**293**億円  
YoY+43%

経常利益  
**331**億円  
YoY+23%

親会社株主に帰属  
する当期純利益  
**262**億円  
YoY▲16%

### 増減の主要因

売上高：高機能樹脂が堅調、エラストマー素材は原料価格高騰分の販売価格改定および為替円安が進行

営業利益：同上、さらに光学フィルムの歩留まり良化

経常利益：同上、ただし為替差益は減少

当期純利益：投資有価証券について前年度に大型の売却を実施

## 2025年度通期連結業績予想

売上高  
**4,095**億円 ▲3%

営業利益  
**280**億円 ▲5%

経常利益  
**280**億円 ▲15%

親会社株主に帰属  
する当期純利益  
**250**億円 ▲5%

### 増減の主要因

- 売上高：為替円高（US\$：2024年度¥152.8⇒2025年度¥140）による海外売上高円貨額の減少、および原料価格下落による販売価格下落を見込む  
（国産ナフサ/KL：24年度¥75,800⇒25年度¥63,000、アジアブタジエン/MT：24年度\$1,429⇒25年度\$1,100）
- 営業利益：同上、ただし水島工場1系列の不具合解消による増益を含む
- 経常利益：円高による為替差損の発生を見込む
- 当期純利益：徳山工場の減損損失の減少を見込む

## 2025年度株主還元

DOE  
**4%**以上

配当額  
**72**円/年

自己株式の取得  
2025年度  
**100**億円

- 配当方針は「自己資本配当率（DOE）4%以上」とする
- 配当額は年間72円を予想
- 自己株式の取得は2025年度1,000万株/100億円を上限に実施を決定

## ① 高性能樹脂（光学フィルム）

- 大画面液晶テレビ用位相差フィルムの新ライン増設を決定いたしました。



### 所在地：氷見二上工場（富山県氷見市）

- ・加速する大型化ニーズに応える製品供給の拡大
- ・敦賀工場（福井県敦賀市）と併せた2拠点体制によるBCP強化

- 増設ライン：3,000mm幅フィルム（世界最大級、当社初）
- 生産能力：年間4,500万㎡
- 着工：2025年12月
- 量産開始：2027年夏を目指す
- 生産製品：最大130インチの液晶パネル生産にも対応可能な大画面液晶テレビ用位相差フィルム

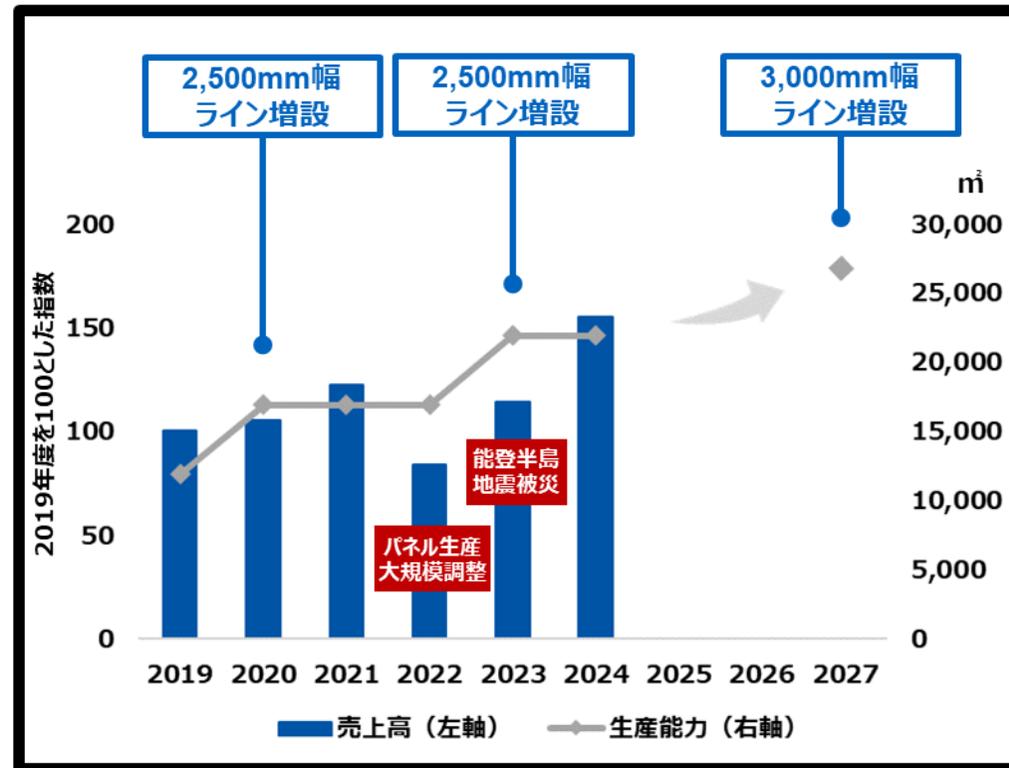
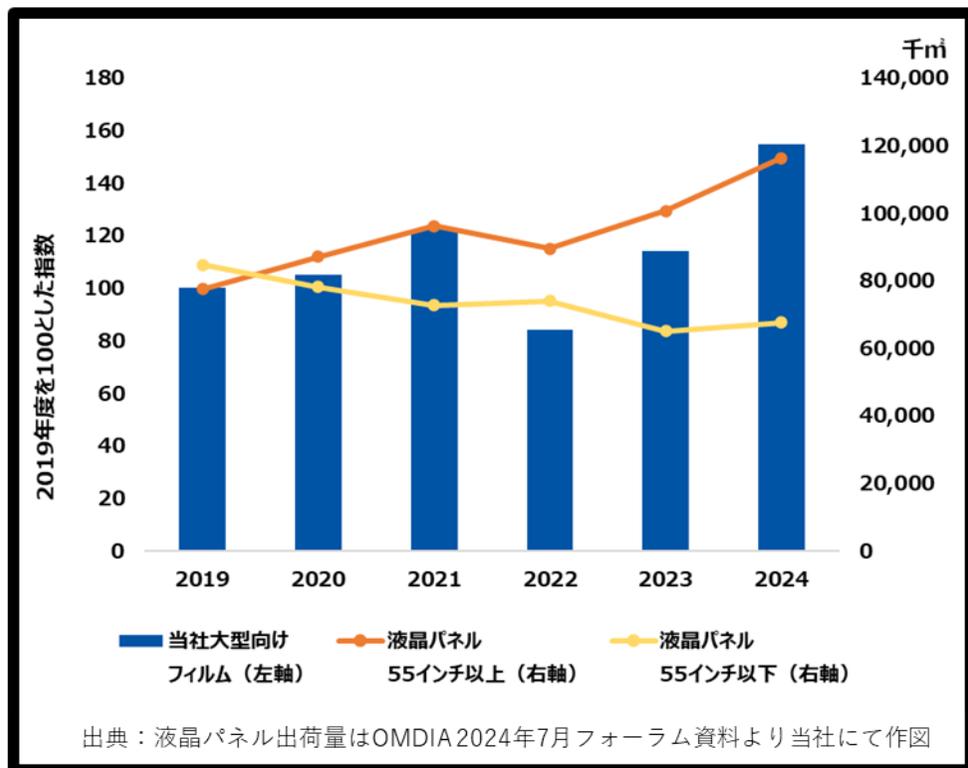


氷見二上工場（氷見市）

## ① 高性能樹脂（光学フィルム）

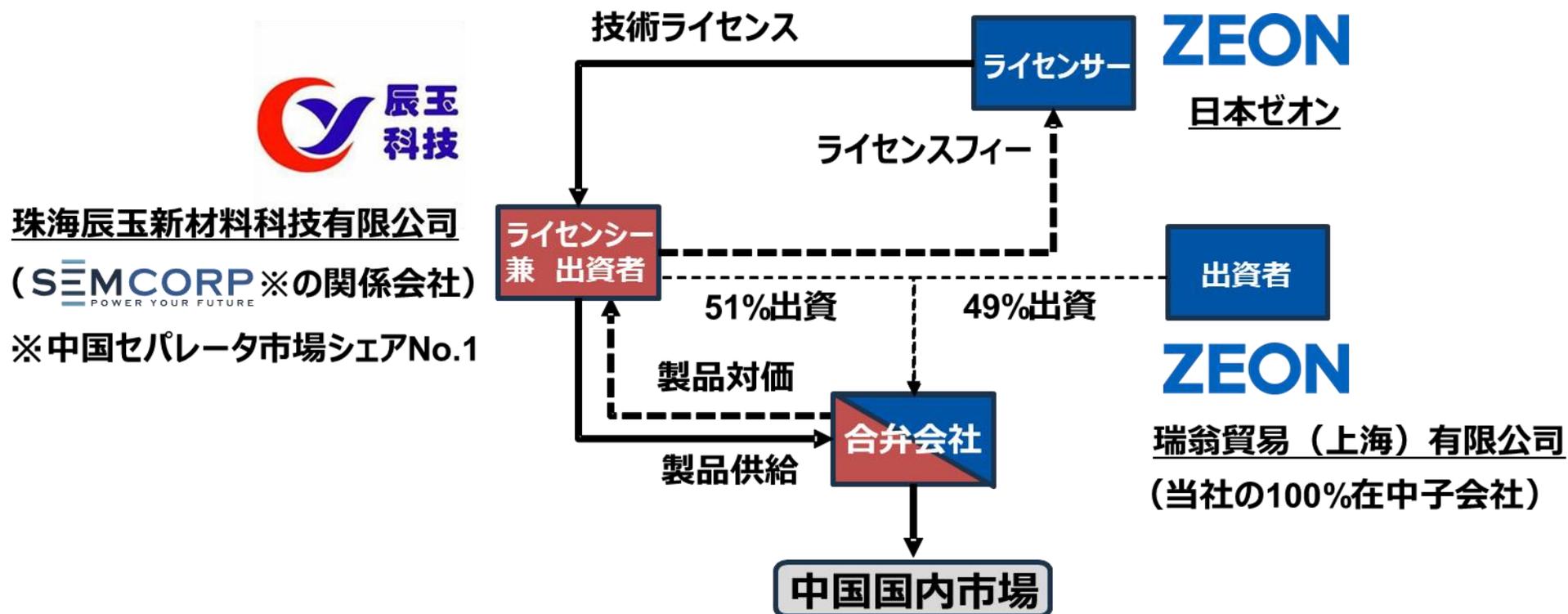
- 大画面液晶パネルは力強い需要成長を見せており、このトレンドは今後も継続する見込です。
- 当社はこれまで大型向けフィルムラインの増設に伴い、着実に売上高を伸ばしてきております。今回の3,000mm幅ラインの増設についても、当社に高い付加価値をもたらすものと確信しております。

【液晶パネル出荷量と当社大型向けフィルム売上高】 【当社大型向けフィルムの生産能力と売上高】



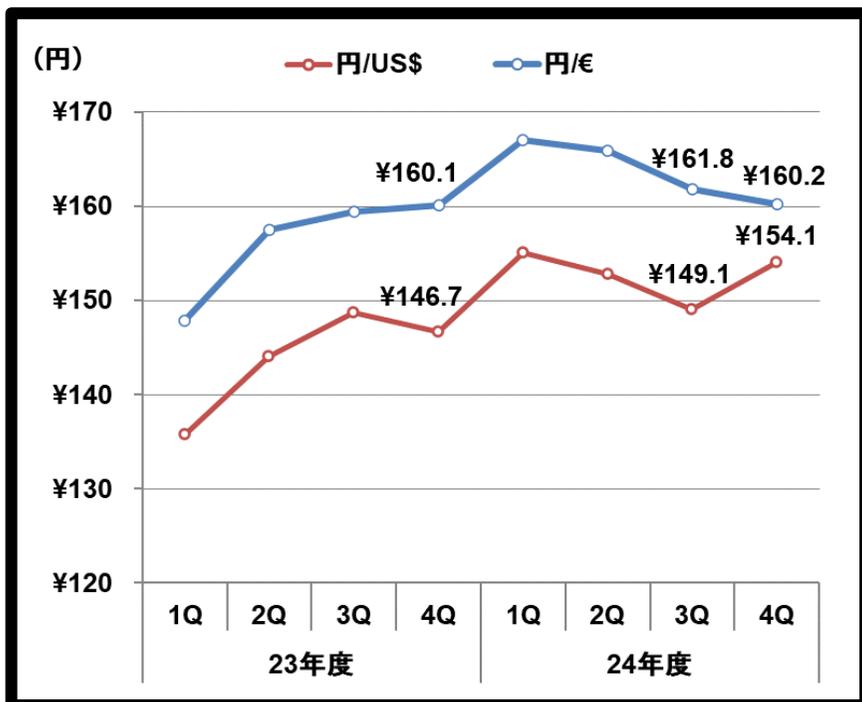
## ② 電池材料

- リチウムイオン電池に使用される負極用バインダーを販売する合併会社の設立について合意しました。
- 上海恩捷新材料科技股份有限公司（以下、SEMCORP）の販売チャネルを活かすとともに、当社がこれまで培ってきた負極用バインダー技術と珠海辰玉新材料科技有限公司（以下、辰玉社）の製造コスト競争力を融合させ、中国国内市場における負極用バインダー事業の更なる拡大を目指します。

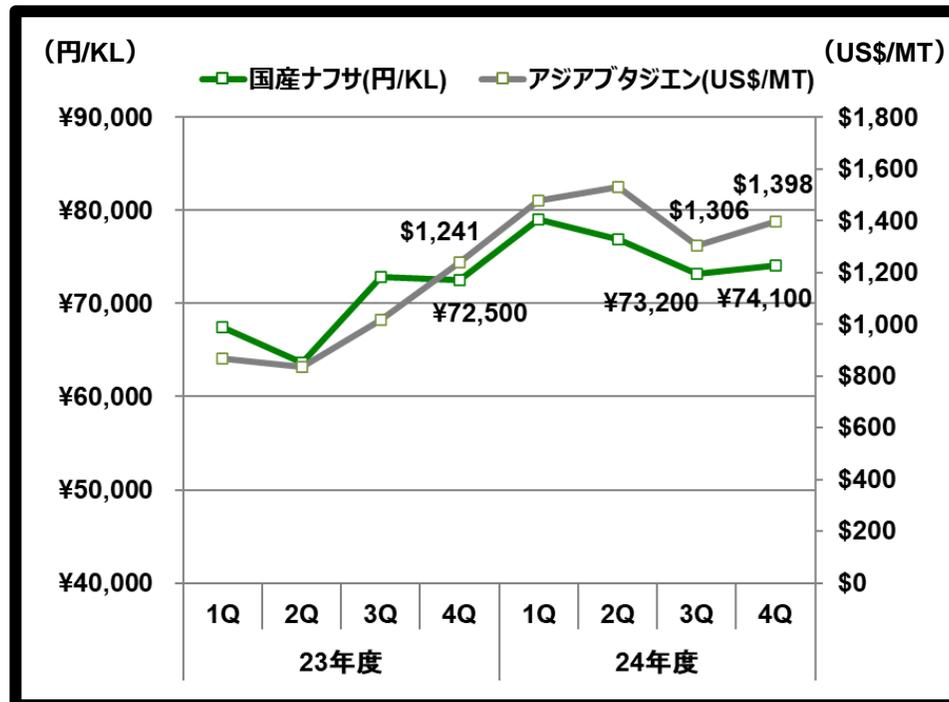


P.2	総括	
P.4	トピックス	
P.8	事業環境（為替・主原料推移）	
P.9	業績サマリー	
P.13	高機能材料	P/L
P.14	高機能材料	セグメント別概況
P.15	高機能樹脂事業	: COPの状況
P.16	高機能樹脂事業	: 光学フィルムの状況
P.17	高機能バインダー材料事業	: 電池材料の状況
P.18	高機能ケミカル事業	: 化学品・電子材料の状況
P.20	エラストマー素材	P/L
P.21	エラストマー素材	セグメント別概況
P.22	エラストマー素材	: 合成ゴムの状況
P.24	B/S概要	
P.25	C/F概要	
P.27	2025年度 業績予想	
P.30	2025年度 株主還元予想	

## 【為替推移】



## 【主原料推移】



		2023年度	2024年度	YoY 変化率
為替	円/US\$	¥143.8	¥152.8	+6%
	円/€	¥156.2	¥163.8	+5%
主原料	国産ナフサ/KL	¥69,100	¥75,800	+10%
	アジアブタジエン/MT	\$990	\$1,429	+44%

※国産ナフサ：2023年度は確報値、2024年度は当社見込値

(単位：億円)

	前年同期	前期	今期	対前年同期	対前期	2023年度 Q4累計	2024年度	対前年度
	2023年度 Q4	2024年度 Q3	2024年度 Q4	YoY 増減	QoQ 増減		Q4累計	YoY 増減
売上高	985	1,021	1,052	+67	+31	3,823	4,206	+384
営業利益	45	74	51	+6	▲22	205	293	+88
経常利益	70	88	57	▲13	▲31	269	331	+61
当期純利益	102	78	61	▲41	▲18	311	262	▲49

- 前年同期比 : 売上高 +67億円、営業利益 +6億円
- 前期比 : 売上高 +31億円、営業利益 ▲22億円
- 通期対前年度比 : 売上高 +384億円、営業利益 +88億円

注記：海外関係会社の2024年10～12月実績がQ4連結決算に反映されています。

# 2024年度Q4 業績サマリー (セグメント別)

(単位：億円)

【売上高】	前年同期	前期	今期	対前年同期	対前期	2023年度 Q4累計	2024年度 Q4累計	対前年度
	2023年度 Q4	2024年度 Q3	2024年度 Q4	YoY 増減	QoQ 増減			YoY 増減
高機能材料	283	286	315	+32	+29	1,074	1,216	+142
エラストマー素材	556	578	581	+25	+3	2,153	2,366	+213
その他の事業、消去等	146	157	156	+11	▲1	596	625	+29
売上高合計	985	1,021	1,052	+67	+31	3,823	4,206	+384

【営業利益】	前年同期	前期	今期	対前年同期	対前期	2023年度 Q4累計	2024年度 Q4累計	対前年度
	2023年度 Q4	2024年度 Q3	2024年度 Q4	YoY 増減	QoQ 増減			YoY 増減
高機能材料	30	37	31	+0	▲6	132	176	+43
エラストマー素材	5	29	20	+15	▲10	66	109	+43
その他の事業、消去等	10	7	1	▲9	▲6	6	8	+2
営業利益合計	45	74	51	+6	▲22	205	293	+88

(単位：億円)

【売上高】	2023年度	2024年度 業績予想	2024年度	対前年度	対業績 予想比	対業績 予想比率
				YoY 増減		
高機能材料	1,074	1,195	1,216	+142	+21	2%
エラストマー素材	2,153	2,360	2,366	+213	+6	-%
その他の事業、消去等	596	615	625	+29	+10	2%
売上高合計	3,823	4,170	4,206	+384	+36	1%

【営業利益】	2023年度	2024年度 業績予想	2024年度	対前年度	対業績 予想比	対業績 予想比率
				YoY 増減		
高機能材料	132	165	176	+43	+11	6%
エラストマー素材	66	95	109	+43	+14	15%
その他の事業、消去等	6	5	8	+2	+3	66%
営業利益合計	205	265	293	+88	+28	11%

P.2	総括	
P.4	トピックス	
P.8	事業環境（為替・主原料推移）	
P.9	業績サマリー	
P.13	高機能材料	P/L
P.14	高機能材料	セグメント別概況
P.15	高機能樹脂事業	: COPの状況
P.16	高機能樹脂事業	: 光学フィルムの状況
P.17	高機能バインダー材料事業	: 電池材料の状況
P.18	高機能ケミカル事業	: 化学品・電子材料の状況
P.20	エラストマー素材	P/L
P.21	エラストマー素材	セグメント別概況
P.22	エラストマー素材	: 合成ゴムの状況
P.24	B/S概要	
P.25	C/F概要	
P.27	2025年度 業績予想	
P.30	2025年度 株主還元予想	

(単位：億円)

	2023年度 Q4	2024年度 Q3	2024年度 Q4	YoY 増減	YoY 増減率	QoQ 増減	QoQ 増減率
<b>売上高</b>	<b>283</b>	<b>286</b>	<b>315</b>	<b>32</b>	<b>11 %</b>	<b>29</b>	<b>10 %</b>
高機能樹脂	158	187	201	42	27 %	13	7 %
高機能バインダー材料	73	52	65	▲ 8	▲ 11 %	13	26 %
高機能ケミカル	41	37	40	▲ 1	▲ 3 %	2	6 %
メディカル他	10	10	10	▲ 1	▲ 5 %	0	2 %
<b>営業利益</b>	<b>30</b>	<b>37</b>	<b>31</b>	<b>0</b>	<b>1 %</b>	<b>▲ 6</b>	<b>▲ 17 %</b>
高機能樹脂	26	20	27	1	4 %	7	34 %
高機能バインダー材料	6	8	4	▲ 2	▲ 27 %	▲ 3	▲ 43 %
高機能ケミカル	2	10	2	0	6 %	▲ 9	▲ 84 %
メディカル他	▲ 3	▲ 1	▲ 2	1	- %	▲ 1	- %
営業利益率	11%	13%	10%				

旧サブセグメント区分（2024年度Q3まで）

高機能樹脂 : COP、光学フィルム  
 高機能ケミカル : 電池材料、トナー、化学品、電子材料

新サブセグメント区分（2024年度Q4から）

高機能樹脂 : COP、光学フィルム  
 高機能バインダー材料 : 電池材料、トナー  
 高機能ケミカル : 化学品、電子材料

## 高機能材料

売上高 **315** 億円 (QoQ+10%、YoY+11%)

営業利益 **31** 億円 (QoQ▲17%、YoY+1%)

## 高機能樹脂

売上高 **201** 億円 (QoQ+7%、YoY+27%)

営業利益 **27** 億円 (QoQ+34%、YoY+4%)

- QoQ  
COP、光学フィルムともに出荷堅調により増収増益  
24/Q3に発生した水島工場1系列不具合が解消し営業利益は大幅に回復
- YoY  
前年度Q4は能登半島地震被災の影響を受けており増収増益  
COPは船積の期ズレ等により出荷の一部が25年度へ繰延

## 高機能バインダー材料

売上高 **65** 億円 (QoQ+26%、YoY▲11%)

営業利益 **4** 億円 (QoQ▲43%、YoY▲27%)

- QoQ  
ESS向け負極用バインダーの出荷堅調に加え、トナーは国内主力工場の定期検査完了により出荷量が回復し増収  
電池材料の販売品目構成差より減益
- YoY  
欧州EV向け電池材料の出荷が振るわず減収減益

## 高機能ケミカル

売上高 **40** 億円 (QoQ+6%、YoY▲3%)

営業利益 **2** 億円 (QoQ▲84%、YoY+6%)

- QoQ  
合成香料の出荷が回復し増収  
棚卸資産関連費用の発生により減益 (約▲8億円)
- YoY  
合成香料の出荷は本格回復には至らず減収  
販売品目構成差により増益

		QoQ	YoY	YoY累計
連結売上高		↑	↑	↑
当社製品の 販売動向	光学用途向け	↓	↑	↑
	医療その他向け	↑	↓	↓
	半導体用途向け	↑	↑	↑

## ■ 光学用途向け

スマホ向け、レンズユニット向けともに需要は堅調となるも、QoQは中国顧客の旧正月による稼働日数減により出荷減

## ■ 医療その他向け

一部顧客のQ3在庫調整を経て出荷が再開、QoQで195%の出荷増(単体ベース)

## ■ 半導体用途向け

前年度の半導体市場の調整から回復し、YoY累計で249%の出荷増(単体ベース)

		QoQ	YoY	YoY累計
<b>連結売上高</b>		↗	↗	↗
<b>当社製品の 販売動向</b>	<b>中小型向け</b>	→	↗	↗
	<b>大型向け</b>	↗	↗	↗

## ■ 中小型向け

タブレット向け、スマホ向けともに、新モデル生産開始時期が前倒しの状況  
現モデルから新モデルへの移行に伴い、QoQは総じて需要は一服

## ■ 大型向け

前年度Q4は能登半島地震被災の影響で出荷調整を実施  
中国補助金政策により大型TV向け需要は堅調を維持

		QoQ	YoY	YoY累計
<b>連結売上高</b>		↗	↘	↘
<b>当社製品の 販売動向</b>	<b>EV向け</b>	↘	↘	↘
	<b>ESS・民生他向け</b>	↗	↗	↗

## ■ EV向け

中国の補助金政策による需要増は一服

欧州のEV販売台数伸び悩みにより、市況は低調

## ■ ESS・民生他向け

ESS向けは需要増および新規採用が進む

民生向けは中国補助金政策を背景に需要は堅調

		QoQ	YoY	YoY累計
<b>連結売上高</b>				
<b>当社製品の 販売動向</b>	<b>半導体・医療向け</b>			
	<b>香料向け</b>			

## ■ 半導体・医療向け

旺盛な AI 関連投資を背景にメモリーや一部ロジック製品の需要が拡大し、  
特殊溶剤を中心に需要は堅調

## ■ 香料向け

合成香料市場は緩やかな回復が見られるも、需給緩和状態は長期化

P.2	総括	
P.4	トピックス	
P.8	事業環境（為替・主原料推移）	
P.9	業績サマリー	
P.13	高機能材料	P/L
P.14	高機能材料	セグメント別概況
P.15	高機能樹脂事業	：COPの状況
P.16	高機能樹脂事業	：光学フィルムの状況
P.17	高機能バインダー材料事業	：電池材料の状況
P.18	高機能ケミカル事業	：化学品・電子材料の状況
<b>P.20</b>	<b>エラストマー素材</b>	<b>P/L</b>
<b>P.21</b>	<b>エラストマー素材</b>	<b>セグメント別概況</b>
<b>P.22</b>	<b>エラストマー素材</b>	<b>：合成ゴムの状況</b>
P.24	B/S概要	
P.25	C/F概要	
P.27	2025年度 業績予想	
P.30	2025年度 株主還元予想	

(単位：億円)

	2023年度 Q4	2024年度 Q3	2024年度 Q4	YoY 増減	YoY 増減率	QoQ 増減	QoQ 増減率
<b>出荷量 (23/Q4=100)</b>	<b>100</b>	<b>86</b>	<b>91</b>	<b>▲ 9 pt</b>	<b>▲ 9 %</b>	<b>5 pt</b>	<b>5 %</b>
合成ゴム	100	79	87	▲ 13 pt	▲ 13 %	8 pt	10 %
ラテックス	100	106	93	▲ 7 pt	▲ 7 %	▲ 14 pt	▲ 13 %
化成品	100	99	103	3 pt	3 %	4 pt	4 %
<b>売上高</b>	<b>556</b>	<b>578</b>	<b>581</b>	<b>25</b>	<b>4 %</b>	<b>3</b>	<b>1 %</b>
合成ゴム	412	436	427	15	4 %	▲ 9	▲ 2 %
ラテックス	30	35	32	2	5 %	▲ 3	▲ 8 %
化成品	99	96	105	7	7 %	9	9 %
その他・消去	15	11	17	2	15 %	6	58 %
<b>営業利益</b>	<b>5</b>	<b>29</b>	<b>20</b>	<b>15</b>	<b>319 %</b>	<b>▲ 10</b>	<b>▲ 33 %</b>
営業利益率	1%	5%	3%				

## エラストマー素材

売上高 **581** 億円 (QoQ+1%、YoY+4%)

営業利益 **20** 億円 (QoQ▲33%、YoY+319%)

## 合成ゴム

売上高 **427** 億円 (QoQ▲2%、YoY+4%)

- QoQ  
国内主力工場の定期検査完了により出荷量が回復するも、海外需要が弱含み減収  
定検後の出荷量増による販直費の増加、期末間接部門費用の配賦増加により減益
- YoY  
原料価格高騰による販売価格改定および為替円安が進行し増収増益

## 合成ラテックス

売上高 **32** 億円 (QoQ▲8%、YoY+5%)

- QoQ  
国内主力工場の定期検査完了に伴い本体からの出荷は回復するも、海外子会社販売  
分は定期検査期間における出荷調整中の業績が連結され減収、営業利益は横ばい
- YoY  
手袋向けラテックスの出荷量の増加および原料価格高騰による販売価格改定、為替円安  
が進行し増収増益

## 化成品

売上高 **105** 億円 (QoQ+9%、YoY+7%)

- QoQ  
粘着テープ、ラベルの需要は堅調となり出荷量増により増収  
棚卸資産関連費用の発生により減益
- YoY  
粘着テープ、ラベルの需要は堅調となり出荷量増により増収増益

		QoQ	YoY	YoY累計
<b>連結売上高</b>		<b>98%</b>	<b>104%</b>	<b>108%</b>
<b>当社製品の 販売動向</b>	<b>特殊ゴム</b>			
	<b>汎用ゴム</b>			

## ■ 特殊ゴム

高岡工場定期検査は完了し、QoQで出荷は回復  
海外を中心とした需給緩和により、YoYで出荷は横ばい

## ■ 汎用ゴム

徳山工場および高岡工場定期検査は完了し、QoQで出荷は回復  
シンガポール拠点の定期検査による出荷調整で、YoYで出荷は減少

P.2	総括	
P.4	トピックス	
P.8	事業環境（為替・主原料推移）	
P.9	業績サマリー	
P.13	高機能材料	P/L
P.14	高機能材料	セグメント別概況
P.15	高機能樹脂事業	：COPの状況
P.16	高機能樹脂事業	：光学フィルムの状況
P.17	高機能バインダー材料事業	：電池材料の状況
P.18	高機能ケミカル事業	：化学品・電子材料の状況
P.20	エラストマー素材	P/L
P.21	エラストマー素材	セグメント別概況
P.22	エラストマー素材	：合成ゴムの状況
P.24	<b>B/S概要</b>	
P.25	<b>C/F概要</b>	
P.27	2025年度 業績予想	
P.30	2025年度 株主還元予想	

## 総資産5,338億円 (+15)

【流動資産】	▲28億円
◆現預金	▲154億円
◆売掛債権	▲2億円
◆未収入金	▲56億円
◆棚卸資産	+182億円

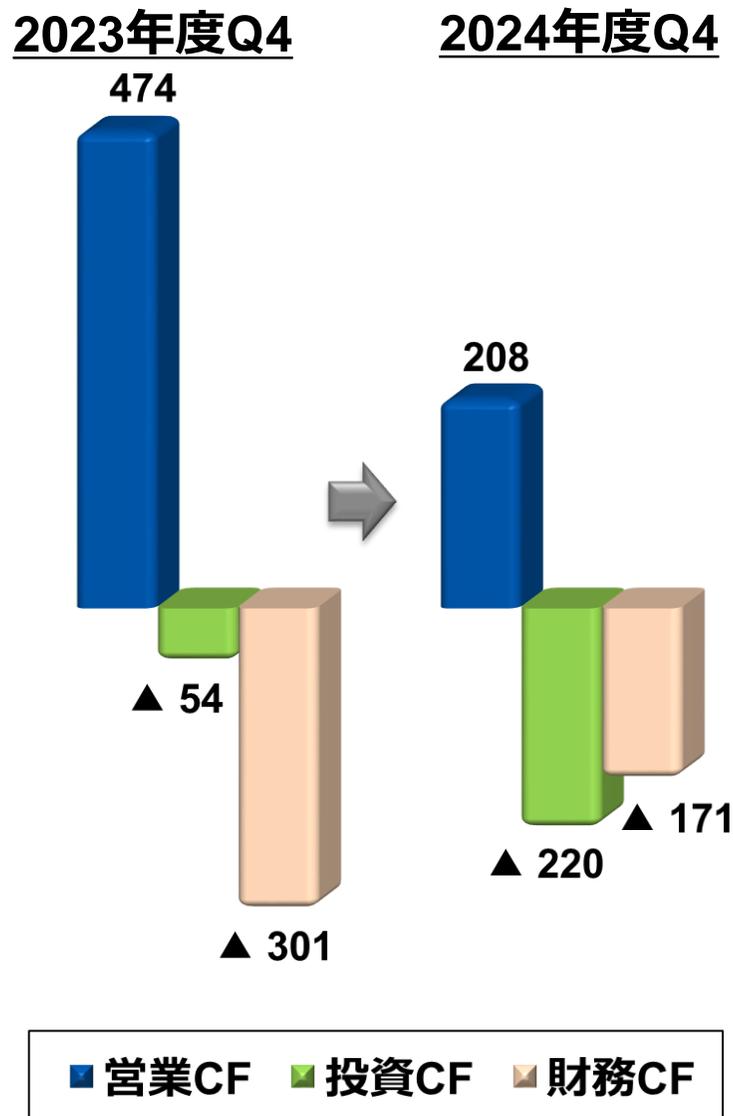


【流動負債】	+85億円
◆買入債務	▲152億円
◆商業紙	+170億円

【固定資産】	+44億円
◆有形固定資産	+130億円
◆投資有価証券	▲141億円

【純資産】	▲57億円
◆自己資本比率	66.9% (▲1.2)
◆D/Eレシオ	0.07 (+0.05)

(単位：億円)



(単位：億円)

	2023年度Q4	2024年度Q4
営業CF	474	208
投資CF	▲54	▲220
フリーCF	420	▲12
財務CF	▲301	▲171
CF	119	▲184

【営業CF】	▲266億円
◆税前利益	▲109億円
◆税金	▲44億円
◆株式売却益	+172億円
◆運転資金	▲299億円
◆その他	+14億円

【財務CF】	+130億円
◆資金調達	+360億円
◆配当金	▲28億円
◆自己株式取得・消却	▲198億円
◆その他	▲4億円

P.2	総括	
P.4	トピックス	
P.8	事業環境（為替・主原料推移）	
P.9	業績サマリー	
P.13	高機能材料	P/L
P.14	高機能材料	セグメント別概況
P.15	高機能樹脂事業	: COPの状況
P.16	高機能樹脂事業	: 光学フィルムの状況
P.17	高機能バインダー材料事業	: 電池材料の状況
P.18	高機能ケミカル事業	: 化学品・電子材料の状況
P.20	エラストマー素材	P/L
P.21	エラストマー素材	セグメント別概況
P.22	エラストマー素材	: 合成ゴムの状況
P.24	B/S概要	
P.25	C/F概要	
<b>P.27</b>	<b>2025年度 業績予想</b>	
P.30	2025年度 株主還元予想	

# 2025年度 業績予想

(単位：億円)

【売上高】	2024年度 実績	2025年度 上期予想	2025年度 下期予想	2025年度 業績予想	業績予想 差異
高機能材料	1,216	575	580	1,155	▲ 61
エラストマー素材	2,366	1,150	1,160	2,310	▲ 56
その他の事業、消去等	625	310	320	630	+5
<b>売上高合計</b>	<b>4,206</b>	<b>2,035</b>	<b>2,060</b>	<b>4,095</b>	<b>▲ 111</b>

【営業利益】	2024年度 実績	2025年度 上期予想	2025年度 下期予想	2025年度 業績予想	業績予想 差異
高機能材料	176	95	95	190	+14
エラストマー素材	109	40	35	75	▲ 34
その他の事業、消去等	8	5	10	15	+7
<b>営業利益合計</b>	<b>293</b>	<b>140</b>	<b>140</b>	<b>280</b>	<b>▲ 13</b>

- ・予想前提：US\$=140円、€=160円、国産ナフサ/KL=¥63,000、アジアブタジエン/MT=US\$1,100
- ・米国の関税措置の影響は、為替、主原料価格の諸元変化のみ織り込み
- ・2025年度より、有形固定資産の減価償却方法を主として定額法に変更予定、32億円増益を織り込み
- ・営業利益への為替影響（年間）は、1円/US\$：約3億円、1円/€：約2億円、円安により増加

## 【為替、主原料価格前提】

		2024年度	2025年度	YoY 変化率
為替	円/US\$	¥152.8	¥140.0	▲8%
	円/€	¥163.8	¥160.0	▲2%
主原料	国産ナフサ/KL	¥75,800	¥63,000	▲17%
	アジア ブタジエン/MT	\$1,429	\$1,100	▲23%

※国産ナフサ：2024年度、2025年度ともに当社見込値

## 【為替変動による2025年度営業利益予想への影響試算】

(単位：億円)

	2025年度 前提ベース	2024年度 実績ベース	差異
為替	US\$=¥140 €=¥160	US\$=¥152.8 €=¥163.8	US\$=¥12.8 €=¥3.8
2025年度 営業利益予想	280	325	+45

P.2	総括	
P.4	トピックス	
P.8	事業環境（為替・主原料推移）	
P.9	業績サマリー	
P.13	高機能材料	P/L
P.14	高機能材料	セグメント別概況
P.15	高機能樹脂事業	：COPの状況
P.16	高機能樹脂事業	：光学フィルムの状況
P.17	高機能バインダー材料事業	：電池材料の状況
P.18	高機能ケミカル事業	：化学品・電子材料の状況
P.20	エラストマー素材	P/L
P.21	エラストマー素材	セグメント別概況
P.22	エラストマー素材	：合成ゴムの状況
P.24	B/S概要	
P.25	C/F概要	
P.27	2025年度 業績予想	
<b>P.30</b>	<b>2025年度 株主還元予想</b>	

## 株主還元方針

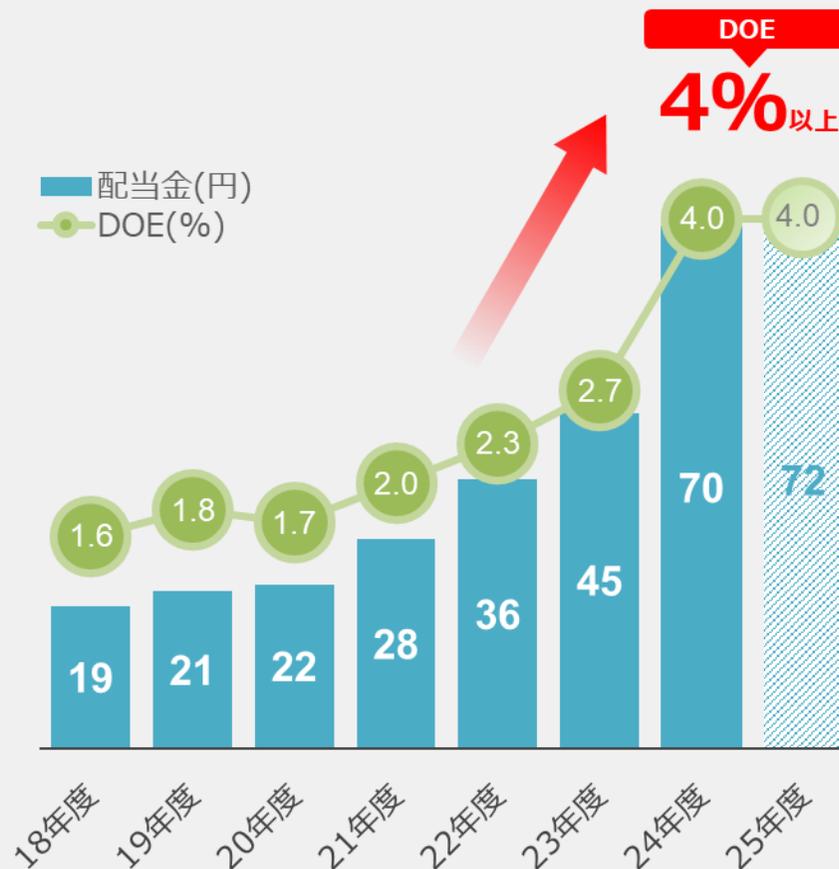
① 配当のKPIとしてDOEを採用し、  
DOE4%以上とする

② 自己株式取得（計画）

24年度-26年度

400億円

- 2024年度 200億円（完了）
- 2025年度 100億円（決定）
- 2026年度 100億円（見込）



- 配当金は年間72円を予想（YoY+2円）
- 年間配当額は2010年度から16期連続増配予想
- 1,000万株/100億円を上限に、自己株式の取得および取得した全株式の消却を決定

本資料に掲載されている当社の計画や見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる結果になる場合があります。

<b>中期経営計画 第3フェーズ発表</b>	<b>2025年6月11日を予定</b>
<b>2025年度 Q1決算発表</b>	<b>2025年7月30日を予定</b>

※上記の予定は、都合により予告なく変更する場合がございます

以 上

統合報告書  
2024年度版  
[こちら](#)

(億円)

	2023年度	2024年度	YoY 増減	YoY 増減率
<b>売上高</b>	<b>3,823</b>	<b>4,206</b>	<b>384</b>	<b>10 %</b>
<b>高機能材料事業</b>	<b>1,074</b>	<b>1,216</b>	<b>142</b>	<b>13 %</b>
高機能樹脂	642	793	152	24 %
高機能バインダー材料	234	225	▲ 9	▲ 4 %
高機能ケミカル	156	158	3	2 %
メディカル他	43	39	▲ 4	▲ 9 %
<b>エラストマー素材事業</b>	<b>2,153</b>	<b>2,366</b>	<b>213</b>	<b>10 %</b>
合成ゴム	1,642	1,769	127	8 %
ラテックス	109	142	33	31 %
化成品	350	403	53	15 %
その他・消去	52	52	▲ 0	▲ 1 %
<b>その他事業</b>	<b>596</b>	<b>625</b>	<b>29</b>	<b>5 %</b>

	2023年度	2024年度	YoY 増減	YoY 増減率
<b>営業利益</b>	<b>205</b>	<b>293</b>	<b>88</b>	<b>43 %</b>
<b>高機能材料事業</b>	<b>132</b>	<b>176</b>	<b>43</b>	<b>33 %</b>
高機能樹脂	73	139	66	91 %
高機能バインダー材料	44	22	▲ 22	▲ 50 %
高機能ケミカル	21	19	▲ 2	▲ 11 %
メディカル他	▲ 5	▲ 4	2	- %
<b>エラストマー素材事業</b>	<b>66</b>	<b>109</b>	<b>43</b>	<b>65 %</b>
<b>その他事業</b>	<b>6</b>	<b>8</b>	<b>2</b>	<b>33 %</b>

# 参考：高機能材料事業：要因別 営業利益差異（QoQ） ZEON

（単位：億円）

+：大型フィルム/医療その他・半導体用途向けCOP/トナー 出荷量増

▲：電池材料 出荷量減

+：光学フィルム/COP 水島工場の1生産系列不具合解消による費用減

▲：化学品/電子材料 棚卸資産関連費用

+2

▲6

+1

+1

▲5

▲：電池材料 品目構成差等

▲：新規開発費用増等

24/Q3  
37億円

▲6

24/Q4  
31億円

数量差

価格差

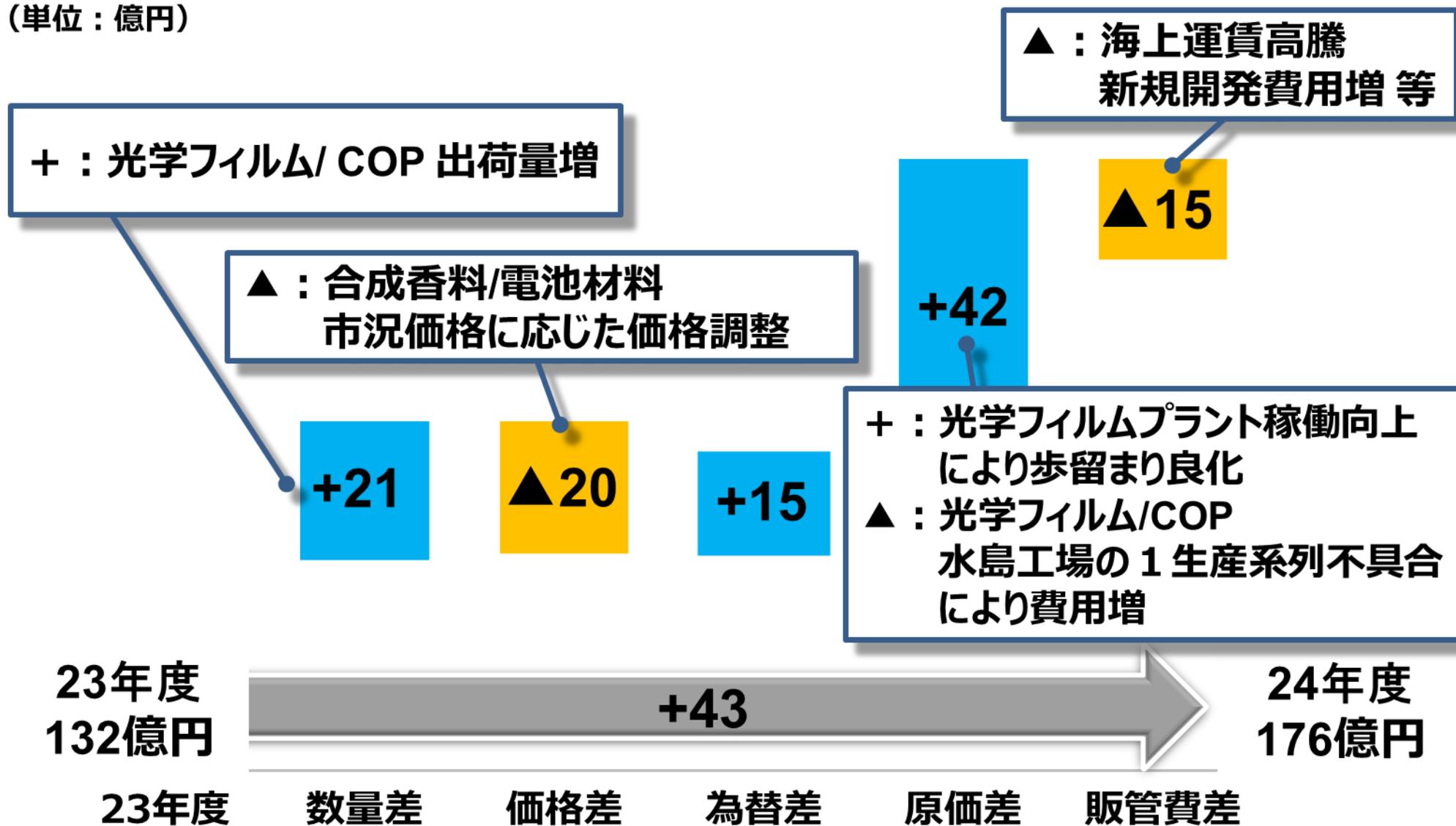
為替差

原価差

販管費差

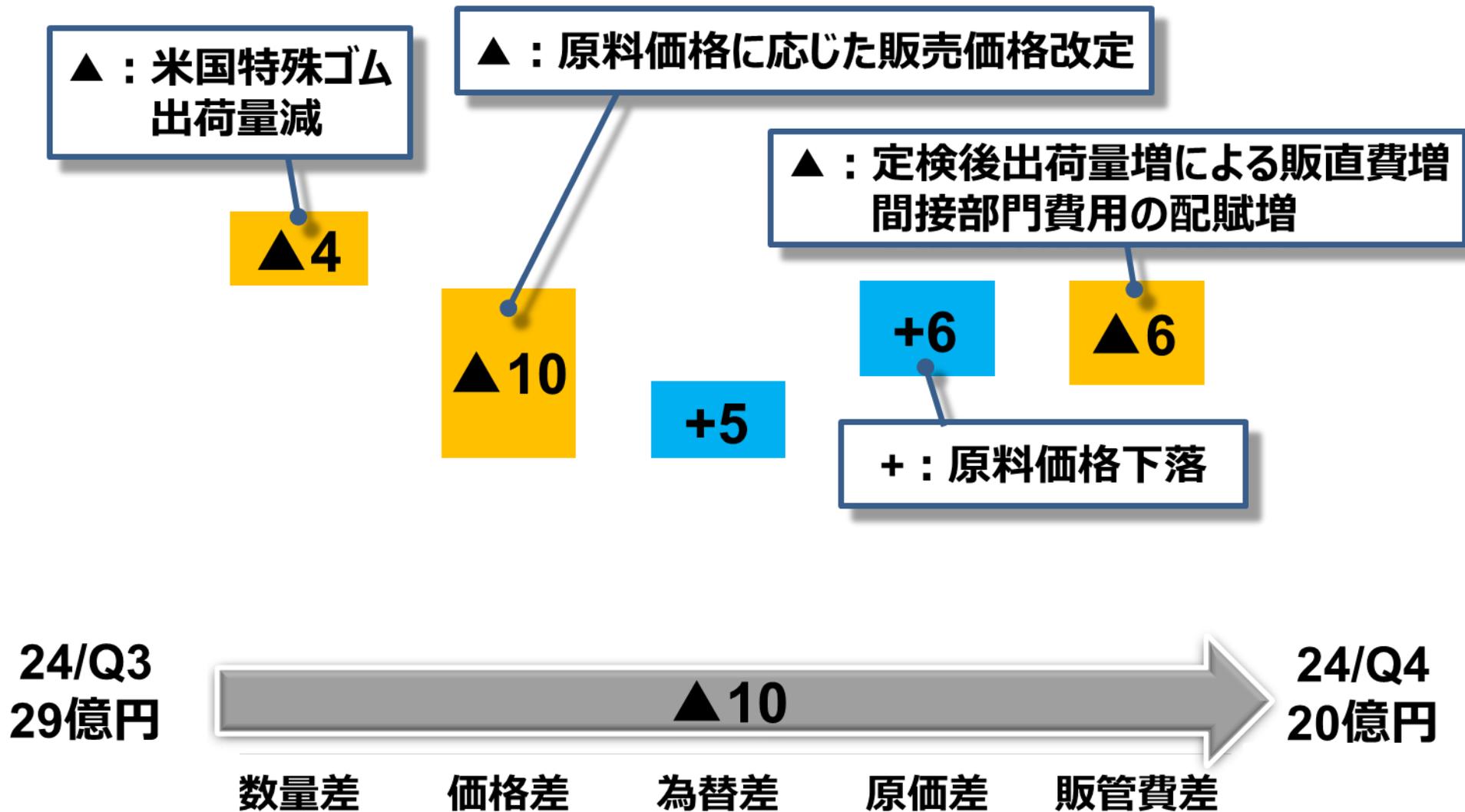
# 参考：高機能材料事業：要因別 営業利益差異 (YoY) ZEON

(単位：億円)



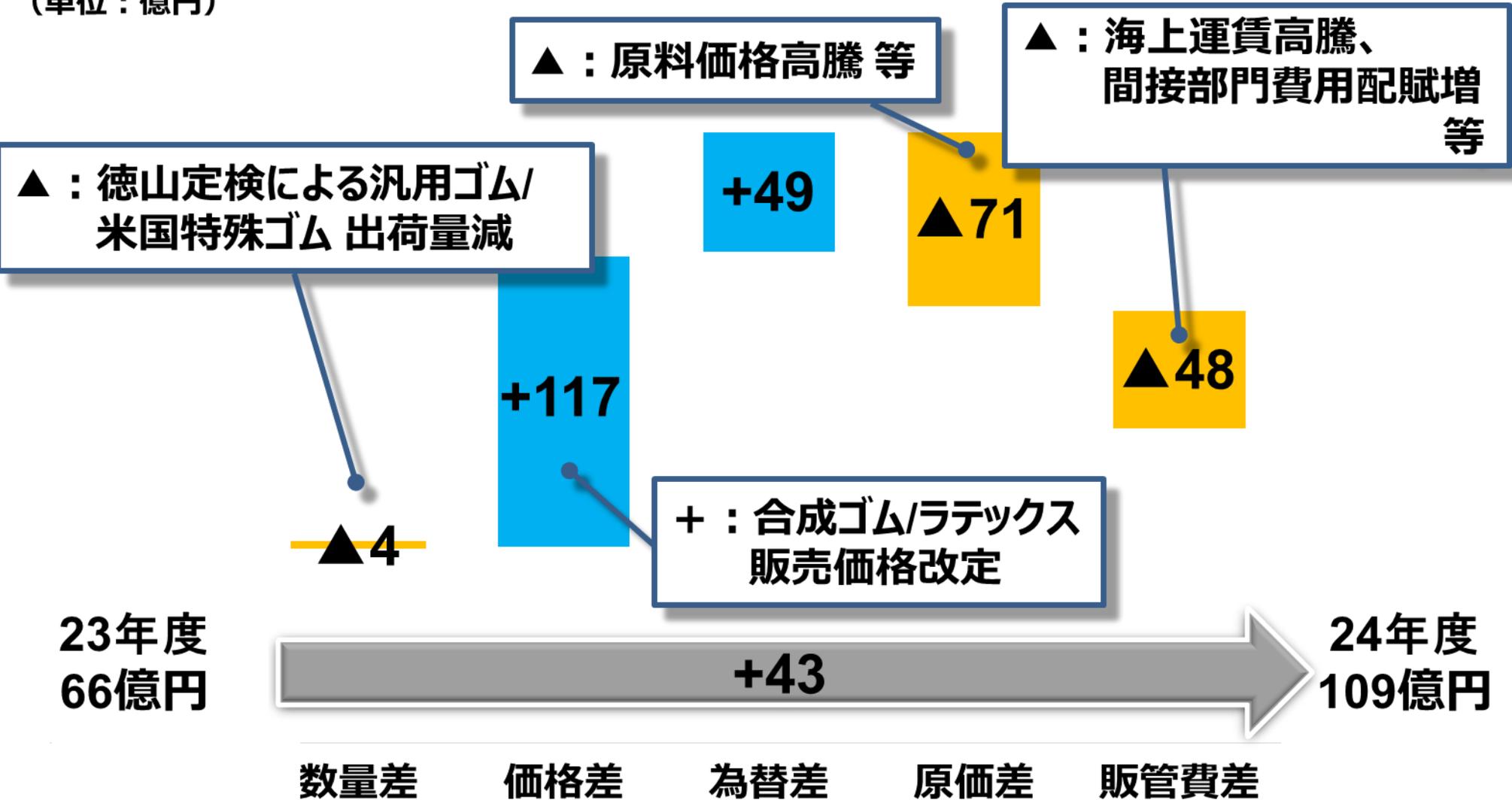
# 参考：エラストマー素材事業：要因別 営業利益差異（QoQ） ZEON

(単位：億円)



# 参考：エラストマー素材事業：要因別 営業利益差異（YoY） ZEON

（単位：億円）



23年度  
66億円

24年度  
109億円

数量差      価格差      為替差      原価差      販管費差

# 参考：営業外損益、特別損益

(単位：億円)

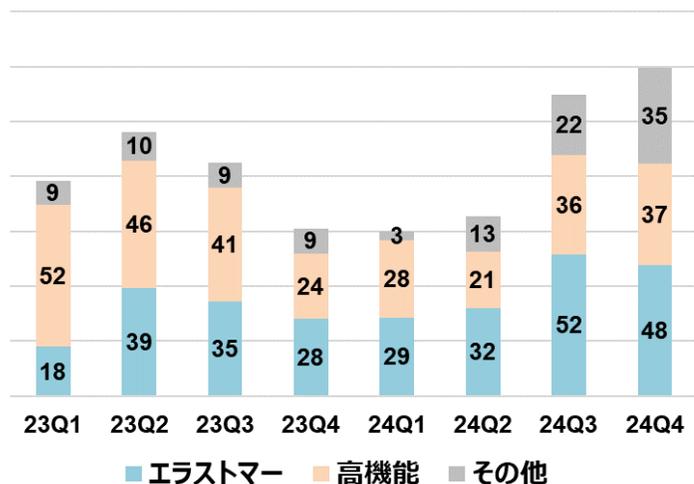
【営業外損益】	2023年度	2024年度	YoY 増減
受取利息・配当金	36	31	▲5
為替差損益	25	11	▲14
助成金	10	5	▲6
支払利息	▲1	▲2	▲1
投資事業組合運用損	▲2	▲2	▲1
休止資産固定費	▲7	▲3	+3
寄付金	▲1	▲3	▲2
貸倒引当金繰入額	0	▲6	▲6
その他	3	7	+4
<b>営業外損益合計</b>	<b>64</b>	<b>37</b>	<b>▲27</b>

【特別損益】	2023年度	2024年度	YoY 増減
投資有価証券売却損益	255	83	▲172
災害損失	▲14	0	+14
貸倒引当金繰入額	▲14	0	+14
固定資産処分損	▲7	▲8	▲2
投資有価証券評価損	▲24	▲10	+14
助成金返還損	0	▲11	▲11
減損損失	▲25	▲58	▲33
その他	▲2	2	+4
<b>特別損益合計</b>	<b>169</b>	<b>▲1</b>	<b>▲171</b>

# 参考：資本的支出、減価償却費の推移

(単位：億円)

【資本的支出】

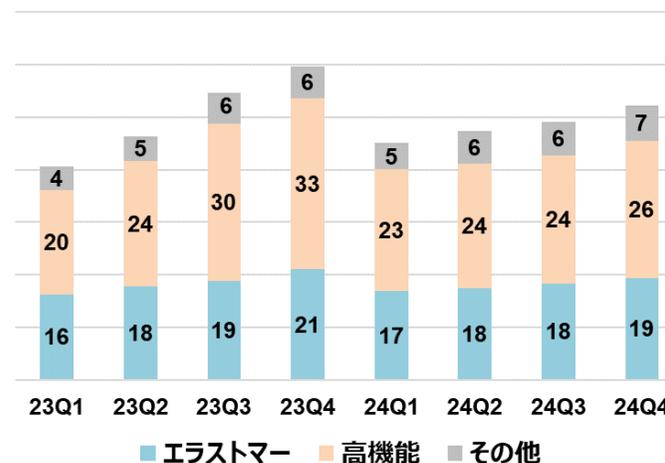


23年度実績  
322億円

24年度実績  
355億円

25年度予想  
690億円

【減価償却費】

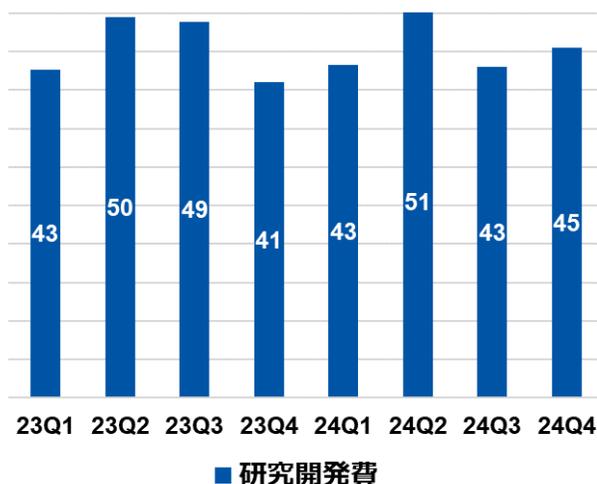


23年度実績  
202億円

24年度実績  
194億円

25年度予想  
165億円

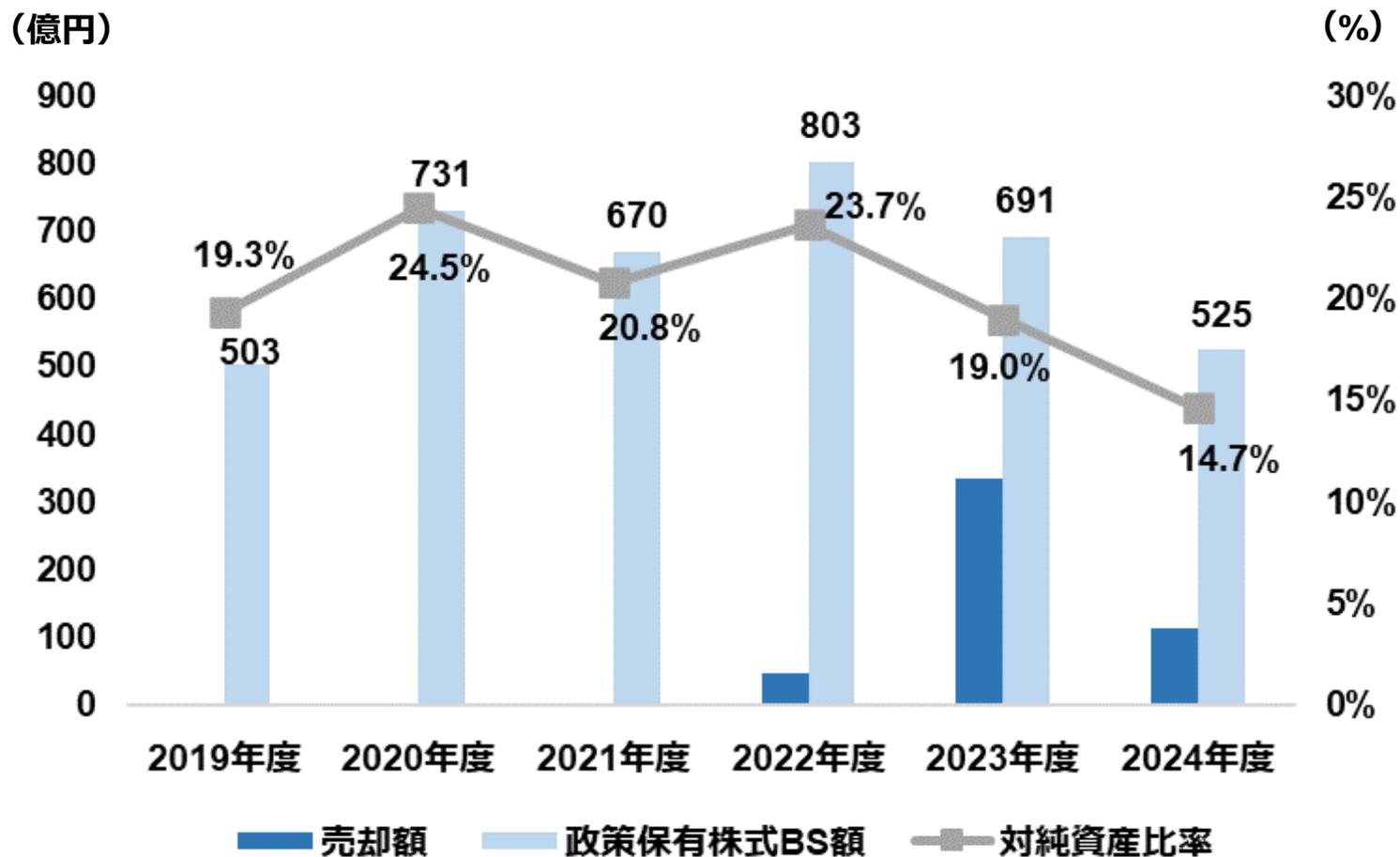
【研究開発費】



23年度実績  
182億円

24年度実績  
182億円

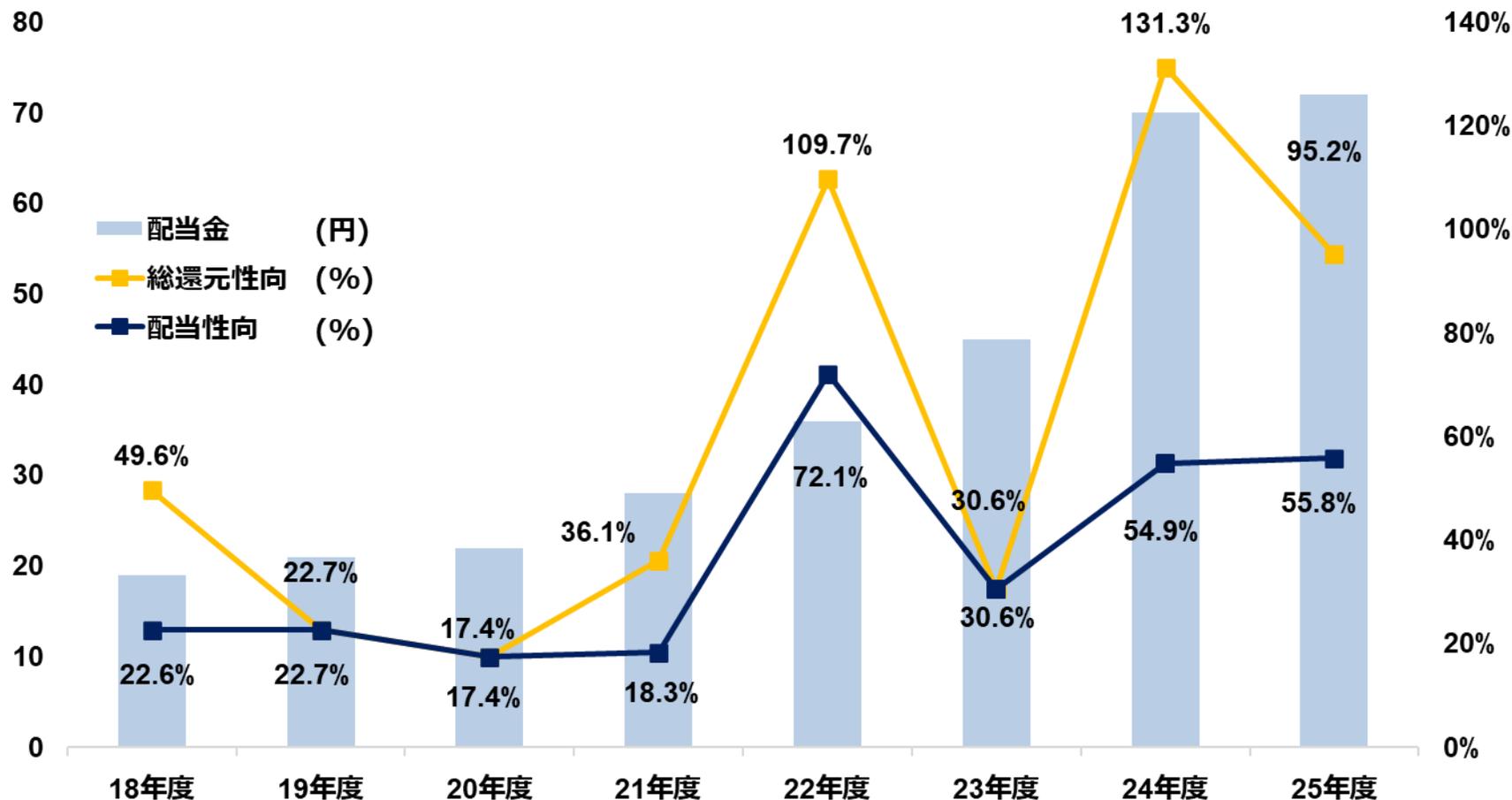
25年度予想  
175億円



- 2025年3月末の政策保有株式対純資産比率は14.7%
- 資本効率性向上に向け、今後も継続して縮減を進める

(単位：円)

(単位：%)



■ 配当利回りは5.17% (2025年4月22日終値ベース)

## アップサイド

エンドマーケット需要回復の早期化

為替の円安化

市況回復の早期化

円安ドル高

景気回復

円安ユーロ高

## ダウンサイド

エンドマーケット需要低迷の長期化

為替の円高化

市況回復の長期化

円高ドル安

景気悪化

円高ユーロ安